

技術士の受験資格は狭き門ではありません



取得した資格：技術士（建設部門：道路）
資格取得年度：令和6年度

ただ じゅんいち
武田 淳一*

技術士（建設部門・道路）に合格することができました。私の試験対策の経験について紹介します。

1. 一次試験

私は一次試験からの受験が必要でした。

一次試験対策は、過去問演習が大切です。しかし、専門科目だけでなく、基礎科目（数学や化学など）もあり、出題範囲は幅広いです。

そのため、効率的に合格するためには、勉強する対象科目を絞り込むことが重要です。私は専門科目試験において、道路は対象から外しました。

2. 二次試験（筆記試験）

1) 二次試験の勉強を始めるに当たって

一次試験合格後に、二次試験の過去問を見ても、どのように勉強すればよいか見当もつきませんでした。そこで、インターネット等で調べたところ、添削を多く受けるのが合格への近道であると感じ、スキヤキ塾（名古屋）に申し込みました。

また、受験に挑戦する期間は長くても3年とし、一発合格を目指すことにしました。そのために、家族の協力を得て、試験までの8か月間は資格試験に集中できるようにさせてもらいました。

2) 論文作成時の留意事項

採点基準は公表されていません。そのため、正解は定かではありませんが、論文作成において、下記事項に注意しました。その結果、問Ⅰと問Ⅲで8割以上の得点をとることができました。

【PDCAサイクルを意識する】

①問題文に対して、これまで国はどのような施策

を実施してきたか。（過去のP：計画、D：実行）

②それでも、現状でどのような問題・課題を抱えているか。（C：評価）

③それを踏まえて、国が新しく進めようとしている施策はどのようなものか。そして、その施策を効率的・効果的に実施するためには、自分はどうすべきと考えるか。（A：改善）

問題Ⅰ、Ⅲの間(1)が①②に該当し、間(2)が③に該当します。

【骨子法を活用する】

論文は、理路整然と、話の飛躍がないようにしなければなりません。そこで、骨子法を用いて論文構成を練りますが、試験時間は非常に短いです。そのため、課題や解決策について、文字数を決めたパターンを数多く作成し、パターンを骨子に当てはめるだけで回答論文が作成できるようにしました。このパターンをどれだけ準備し、出題内容に適合したパターンを抽出できるかが、合否に大きく影響します。

【問題文をよく理解する】

何について問われているのかを理解し、それに即した回答をしなければなりません。見当違いの回答では、加点されないと思います。

【わかりやすい文章の作成】

採点者は、数多くの論文を採点すると思いますので、一読で理解できるような論文である必要があります。そのため、一文を短くし、わかりやすい記述を心がけました。

【実際に書く練習をする】

筆記試験は、知識だけではなく、体力や集中力も大切です。手書きで6,400字を書くことは、想像以

*静岡市 上下水道局 下水道部 下水道施設課 主査

上に大変でした。

試験前には、手書きで書く練習を行いました。試験と同じ時刻で、1日通して記述しましたが、練習では疲労を感じませんでした。しかし、試験当日は全く違いました。無意識に力が入っていたのかもしれませんが。午後はだんだん力が入らなくなり、最後は片手では文字を書けなくなるくらいの疲労でした。必ず、試験と同様に1日を通して、実際に紙に書く練習をしてください。

文字が書きやすいと思い、高価なシャーペンをいろいろと購入しましたが、試験では使いませんでした。試験後半に力が入らなくなってからは、重さの軽い鉛筆や太くて握りやすいシャーペンに助けられました。

3) 論文が合格水準に達するまでの過程

- ①最初は解決策を抽出し、十分な文章量を書くだけでも一苦労。
- ②国の施策などを学ぶことで、問題・課題や解決策の理解が深まる。
- ③骨子法により、理路整然と論文を構成できるようになるが、文字数が指定枚数に収まらなくなる。
- ④必要事項を十分に記載できるように、文章を短く推敲するようになる。

この④段階までくれば、内容の充実した、完成度の高い論文となっていると思います。

4) 特に参考となった書籍や資料など

- ・技術士第二次試験 建設部門 最新キーワード100 (西村隆司・日経BP)：筆記試験勉強開始時に利用し、知識の下地を築くことができました。
- ・国土交通白書の読み方 (堀与志男、西村隆司・日経BP)：受験する分野で押さえておくべき範囲を確認することができます。
- ・短い正義「60字1メッセージ」で結果が出る文章術 (田口まこ・ダイヤモンド社)
- ・ともとの技術士受験日記 Kindle版(ともとも)：簡単に合格できる試験ではないことが、よく理解できました。合格に向けた意識向上のためにお勧めです。
- ・国土交通省HP：対象分野の審議会資料は、必読です。
- ・道路予算資料：国が注力している事業を把握する

上で、非常に参考になります。

- ・月刊誌「道路」(公益社団法人日本道路協会)：専門家や有識者の対談が掲載されています。道路の課題や解決に向けた方向性などの意見が参考になります。

3. 二次試験 (口頭試験)

技術士倫理綱領やコンピテンシーを踏まえて、どのような技術者が技術士としてふさわしいかを確認してください。そして、自分の経験を振り返り、自分が技術士にふさわしいとアピールできるように、想定問答集(Q&A)を作成します。

口頭試験では、私は非常に緊張していましたが、試験官の方は穏やかな感じの方でした。準備していたQ&Aで回答することができ、試験は滞りなく終了しました。

4. 感謝

私一人の力では、合格することはできませんでした。職場の先輩技術士やスキヤキ塾の方々からは、論文添削や模擬面接にて適切な指導をいただきました。また、静岡県主催の研修に参加させていただいた際には、講師や研修担当の方より、有意義なアドバイスを数多くいただきました。

この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

5. おわりに～専門性について～

市町村職員の方は、土木技術職で入庁しても、異動の中で様々な分野へ配属されるため、自分は専門分野がないと考える方もいらっしゃると思います。私も、道路・河川・公園の工事や維持管理を経験し、専門分野といえるようなものはなく、技術士を目指せるような立場にないと考えていました(私は、道路所属は6年で、公園所属時の道路街路樹管理の4年を合わせて、業務経歴を作成しました)。

そのような私でも、努力をすれば、合格することができました。7年という実務経験年数を満たすことができれば、受験資格の対象は決して狭き門ではありません。少しでも技術士資格に興味がある方は、是非チャレンジしてみてください。

【著者紹介】武田 淳一 (たけだ じゅんいち)

大学卒業後、平成16年静岡市役所入庁。家庭で、子供に勉強するように言いながら、自分自身はスマホを見ていることに後ろめたさを感じている。大人も勉強している姿勢を子供に見せる必要があると感じ、資格取得を決心。令和5年度技術士一次試験合格。令和6年度二次試験合格。写真の左端が著者で、家族でUSJにて撮影した写真です。子供の希望で、筆記試験と口頭試験が終了した夏と冬に、USJへ遊びに行きました。技術士試験は、申込みから合格まで長期間を要する試験です。リフレッシュや息抜きすることも大切だと感じました。